

秋田市教育委員会  
会 議 録

令和7年1月定例会

記録者

秋田市教育委員会令和7年1月定例会会議録

- 1 日 時 令和7年1月23日（木曜日）  
午後3時30分～午後4時40分
- 2 場 所 5-A会議室
- 3 出席委員 教育長  
教育委員  
教育委員  
教育委員
- 4 出席職員 教育次長  
教育次長  
副理事兼総務課長  
総務課参事  
学事課長  
学校教育課長  
教職員室長  
教育研究所長  
総務課長補佐  
総務課副参事  
学事課長補佐  
教育研究所副参事  
学校適正配置推進室副参事  
生涯学習室長補佐  
生涯学習室副参事  
学事課主席主査  
学事課主席主査  
総務課主査  
総務課主査  
総務課主事

## 5 議 題

### 【付議案件】

議案第1号 秋田市立学校給食共同調理場等管理運営規則の一部を改正する件

### 【協議事項】

- (1) 令和7年度当初予算（案）に関する件について
- (2) 令和6年度2月補正予算（案）に関する件について
- (3) 令和7年度全国学力・学習状況調査への参加について

### 【教育長等の報告】

- (1) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について
- (2) 令和6年度「二十歳（はたち）のつどい」の結果について

## 6 議 事 午後3時30分開会

### 【欠席の報告】

委員から定例会を欠席する旨の届出があったことについて、教育長が報告した。

### 【令和6年12月定例会会議録の承認】

令和6年12月定例会会議録について、異議がないため承認された。

### 【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

### 【非公開の議決】

教育長 協議事項(1)および(2)については、今後議会に提出され、審議される案件であり、現段階では公の場で審議した場合、事務局の説明や、我々を含め出席者の発言が制約されることにより、十分な審議ができなくなるおそれがある。

したがって、これらの案件については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書の規定により、秘密会として取り扱うこととし、日程の最後に審議したいと思うがどうか。

※ 以上の発議があり、全員賛成により議決された。

【付議案件】

議案第1号 秋田市立学校給食共同調理場等管理運営規則の一部を改正する件  
教育長 議案第1号「秋田市立学校給食共同調理場等管理運営規則の一部を改正する件」について、事務局から説明願う。  
学事課長 (資料に基づき説明)

※ 議案第1号については、全員賛成により、議決された。

【協議事項】

(3) 令和7年度全国学力・学習状況調査への参加について  
教育長 協議事項(3)「令和7年度全国学力・学習状況調査への参加について」、事務局から説明願う。  
教育研究所長 (資料に基づき説明)  
委員 CBTとIRTについてのメリットは、どのようなことが考えられるか。  
教育研究所長 IRTのメリットは、多くの問題パターンで子どもたちに調査を実施できるため、幅広い領域や問題に対する結果を収集できる点である。小学校6年生のときと中学校3年生のときで問題の難易度が違っていても比較できる。結果についても、これまでよりも詳細なデータが提供されると聞いているが、提供方法などについては、ワーキンググループで検討されているため、国の動向を注視していきたい。  
委員 CBTについては、学校で調査用の問題冊子を保管する作業がなくなるというメリットもある。  
委員 民間での就職試験等もこのような形式で実施されている。今回は中学校の理科のみとなっているが、今後、教科は増えていくのか。

- 教育研究所長 現段階において、令和10年度までのスケジュールが示されており、来年度は、中学校英語でI R Tが実施される。令和9年度には、教科調査が全てC B Tで実施される予定である。令和10年度に、再び理科が実施される予定であり、来年度の小学校6年生が中学校3年生のときにどうなっているかが比較できる。
- 委員 C B Tなどの導入に伴い、学校側の準備は、どのようなことが考えられるか。
- 教育研究所長 現在、学校においては、来年度の理科のC B T、I R Tに向け、サンプル問題に取り組んでいる。昨年度の英語が既にC B Tで実施されており、子どもたちや先生方も慣れてきているかと思われる。必要に応じてマニュアルを作るなどの支援をしていきたい。
- 委員 I R Tは、子どもたちが同じ日に調査した際、同じ問題に取り組むのか、それとも同じ日でも別の問題となるのか。
- 教育研究所長 理科に関しては、4月14日から17日までの間に、各校のスケジュールに合わせて実施される。問題パターンが、何パターンになるかは示されていないが、学校単位ではない。同じ学校でも複数のパターンになると聞いている。
- 教育長 極端な例だが、隣同士で別々の問題を解いているということもある。
- 委員 時代も変わり、求められる力の変化やタブレット端末を使いこなしていく必要を感じるが、まずは、学校が混乱なく、子どもたちが力を発揮できれば良いと思う。学校でも子どもたちにサンプル問題を解かせながら、新しい取組に柔軟に対応してほしい。
- 本市でも、一人ひとりに応じた学習指導の改善に生かすための資料の1つとして活用してきたが、今回、提供されるI R Tのスコアをどのように活用していくのか。また、その良さは何か。

- 教育研究所長 本市では、平成19年度の調査開始以来、学力というものを幅広く捉え、学校訪問での指導主事による見取りなども加えながら分析し、支援に努めてきた。今後も資料の1つとして活用していきたい。
- I R Tに関しては、現在、国のワーキンググループで公表方法やフィードバックの在り方について、検討しているところであり、現段階では、理科の個票のイメージが示されている。問題の難易度など、これまでになかった項目が追加されており、活用が期待できる。
- 教育長 中学校の理科において、I R Tスコアで個人に返ってきた際に、一人ひとりの生徒が、そこから自分の何を読み取れるかということが大きいと思う。その点については、国で詰めているところだと思うので、大いに期待したい。
- 教育次長 I R Tのデメリットは、問題が違うため、問題の公表が制限されることであり、場合によっては、何年後かになる場合もある。そのような状況であるため、従来のように問題を全部分析して、傾向と対策をするというやり方は、当てはまらない。また、この点をデメリットと捉えるのかどうかは微妙ではあるが、大規模に問題を作る必要がある。この点については、国が行うため、自治体で実施するよりも多くのテスト問題のパターンを作れると思われる。
- 教育長 一部公開の問題は、共通問題ということか。
- 教育研究所長 明記されてはいないが、そうではないかと思われる。
- 教育長 その点についても、国で方針を示しているわけではないのか。
- 教育研究所長 例えば、共通問題を経年で見っていく場合には、非公開とすることも考えられるのではないか。
- 教育長 公開される問題が、全ての生徒が回答する共通問題であるとは限らない。全国と同じ学年の子どもたちから大きなデータが得られるため、共通である必要がないということになる。

※ 異議がなかったため、令和7年度の調査については、参加することに決定した。

※ 協議事項(3)については、以上のとおり終了した。

### 【教育長等の報告】

#### (1) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

教育長 報告(1)「学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について」、事務局から説明願う。

学校適正配置推進室副参事 (資料に基づき説明)

委員 秋田北中と飯島中への進学先の選択に部活動が大きく影響しているということだが、実際には、どのような影響があるのか。

学校適正配置推進室副参事 小学校から中学校に進学する際には、部活動を理由として指定学校の変更が許可されることとなっている。例えば、秋田北中にある部活動が、飯島中にはない。又は、その逆の場合もあり、それらの影響があるものと考えている。

委員 実際には、どのくらいの生徒が指定学校を変更しているのか。

学校適正配置推進室副参事 これまで、飯島小の卒業生は、秋田北中と飯島中のそれぞれに約50%ずつ進学していたが、直近では、秋田北中に22%、飯島中に73%進学している。全てにおいて部活動が理由で指定学校を変更しているものではないが、ここ数年の進学状況を見ると、飯島中への進学が多くなっている状況である。

委員 今後も生徒数が減少する見込みであり、令和15年度の統合を目途とするということだが、令和15年度に根拠はあるのか。

学校適正配置推進室副参事 令和15年頃には、適正規模となる18学級を下回っている状況であるほか、秋田北中で単級が発生する見込みである。

そのような教育環境を見越して、令和15年度を目途としている。

委員                    そういった理由であれば、保護者や地域も検討の材料となると思う。

※ 報告(1)については、以上のとおり終了した。

(2) 令和6年度「二十歳（はたち）のつどい」の結果について

教育長                    報告(2)「令和6年度「二十歳（はたち）のつどい」の結果について」、事務局から説明願う。

生涯学習室長補佐        (資料に基づき説明)

委員                    生涯学習室をはじめ、ご尽力いただき、感謝する。今年度は、非常に落ち着いた雰囲気の中で行われており、騒ぐ成人もおらず、整然と淡々と進んでいったという印象だ。自宅に戻ってから、YouTubeでの配信を見たが、竿燈やステージパフォーマンスが非常に良かった。郷土愛に培われたものを成人の皆さんも感じとったのではないかと思う。

「式典の印象について」、「参加者の式典への参加マナーについて」は、6割程度の方から「良かった」との回答であったことは評価できるが、「悪かった」と回答した方が一定数いる。来年度以降の参考にするため、何が悪く、どのように改善すべきかなどの意見はあったか。

生涯学習室長補佐        アンケートでは、式典の印象が悪かった理由として、ふれあいタイムの時間が短かったという意見や、中学校時代の友達と触れ合うことが醍醐味であり、その時間を増やしてほしいという意見があった。また、2階席において、アトラクション時に参加者が立ち上がり見えなかったという意見もあった。

委員                    ふれあいタイムは、重要なファクターだと思う。来年度以降は、成人たちの意見を取り入れ、時間を長くするなどの工

夫をしてほしい。

委員

ふれあいタイムを楽しみにしている成人は多いと思う。今回は、恩師の出席が多かったように感じた。今後もふれあいタイムを充実させ、時間が増えたら良いと思う。

Webアンケートの回答者数が、55人は少ないと思う。今後、増やしていくための工夫は、どのように考えているか。

生涯学習室長補佐

今年度の新たな取組として、会場内にアンケート協力についてのポスターを貼ったが、結果につながらなかった。今後もアンケートを増やすには、どうすれば良いか検討していく必要があると考えている。

委員

落ち着いた雰囲気の中、来賓や恩師も温かい視線を送り、非常に温かな式典だった。竿燈会の方々が、寒い中でも粋な姿で、成人たちをお祝いしようという雰囲気が素晴らしいと思った。

また、運営協力委員の挨拶が、心に染みた。「コロナ禍で学生生活を送りながらも、今日このように皆さんで集まることができた」という、集まる意味を感じられる感動的な言葉もあり、素晴らしい式典だった。

シャトルバスの復路が75名と多かったのは、何か理由があったのか。

生涯学習室長補佐

例年、天候が良ければ、シャトルバスを利用する傾向がある。今年度は、朝は雪が降っていたため、家族に送ってもらい、帰りはシャトルバスを利用するという人が多かったと思う。

委員

前は、2階の音響が良くなかったが、今回の音響は良かったように感じたがどうか。

生涯学習室長補佐

音響については、限られた予算の範囲内ではあるが、改善に努めている。今後も、どうすればさらに良く聞こえるかを検討していく必要があると考えている。

委員

アンケート用の2次元コードを会場内に貼っていたという

話は以前から聞いていたが、結果に結び付かなかった。パンフレットには、2次元コードを掲載しているのか。

生涯学習室長補佐 次第の裏側に2次元コードを掲載している。

委員 アナウンスでは、アンケートを促していたのか。

生涯学習室長補佐 アナウンスについては、式典の始まりの際や、ふれあいタイムの際などにも行ったが、それでも結果につながらなかった。

委員 大学でも大学生からアンケートが取れないときに「アンケートタイム」を設けたりしている。一斉にみんなでアンケートを行う時間を設定したら、回答率が上がったということがあった。「アンケートタイム」の設定など、参考材料としてほしい。

教育長 非常に整然とした和やかな雰囲気が感じられる良い式典だと思った。特に、運営協力委員の方々が計画時から積極的に自ら工夫したアイデアをどんどん出し、委員同士が協力していたことが式典やアトラクションにも反映されていたのではないかと思う。運営協力委員の仕組みは大変良いと思うので、来年度のメンバーにつないでほしい。

また、アンケートの「二十歳（はたち）のつどい」で思ったことに一番近いもの」という設問は、複数回答で良いのではないかと思う。

※ 報告(2)については、以上のとおり終了した。

#### 【その他、今後の日程についての報告】

熊が出没した際の注意喚起について

委員 最近も飯島小に出没するなど、熊がこの冬も多く出没している。警察の警備や、教育委員会および農地森林整備課から情報発信を行い、子どもたちの安全・安心を守ってほしい。ツキノワグマ出没注意報が1月31日まで延長されているの

で、教育委員会としても対応を考えていく必要があると思う。

学事課長

12月および1月の出沒が、非常に多くなっている。過去に例がないくらいの件数が発生しており、我々としても注意喚起をしているところである。来週、警察、校長会、PTAおよび市役所の関係団体等で児童生徒の防犯に関する連絡協議会を開催する。その中でも現状を報告しながら、今後も連携して対応できるように周知したいと考えている。

総務課長補佐

今後の日程についてお知らせする。2月定例会については、2月13日木曜日午後3時30分から開催する予定である。

教育長

2月定例会は、2月13日木曜日午後3時30分から開催予定とのことである。委員の皆様、よろしくお願いする。

#### 【協議事項】

- (1) 令和7年度当初予算（案）に関する件について
- (2) 令和6年度2月補正予算（案）に関する件について

協議事項(1)および(2)については、秘密会のため、秋田市教育委員会会議規則第21条の規定に基づき、会議録に記載しない。

午後4時40分閉会